



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



今年度も、深沢小と富士塚小の5年、小坂小の3年と5年、御成中1年が、谷戸の体験学習に取り組んでいます。谷戸田の米作り、昔ながらの畑、湿地復元などの保全作業のおかげで、谷戸が蘇っています。いよいよ草が生い茂る季節です。草刈り、草取り作業の合間に、木陰の涼風を楽しみましょう。

体験学習 田の草取り

お知らせ

子ども里山体験

～かまどでごはん～

8/19(日) 14:00～20:30

対象 小4～6年生

参加費 1,000円

(公財)鎌倉市公園協会協働開催

農作業・竹工作・かまどで炊飯など昔ながらの暮らしの体験をします。

詳細は広報かまくら7月15日号に掲載し、(公財)鎌倉市公園協会にて申込受付を行います。

紙芝居がDVDにありました

おなじみ、川上克己(話)、富田昭子(絵)「かっちゃんのお手伝い」の紙芝居です。どこでも誰でも鑑賞できます。1枚1,000円

山崎の夏まつりに参加 7/22(日)

地元の伝統的なお祭りです。当会からは毎年、御輿の屋根の上の鳳(おおとり)にくわえさせる稲の提供と、御輿の担ぎ手として参加しています。



●谷戸の湿地は希少な環境

鎌倉で、ほぼ壊滅したのが「カヤ原（ススキ草原）」です。谷戸の湿地はカヤ原を代用する草地として重要です。カヤネズミなど県内で激減している動物や、アシ原特有の昆虫も見られます。また、「擬似田んぼ」としての役割もあり、カエルやトンボ、ヘイケボタルなども生息します。湿地をよい状態で存続するには、これまで述べたように手入れを要することが判ってきました。

●都市型の里山（公園）には湿地が必要

近年は、公的な緑地（公園）の中で、里山的な環境を守る試みが始まっています。都会の周辺では、農家に代わって市民が里山の担い手になってきました。従来、里山に、教育と生態系保全という新たな視点を加えることで、新たに「都市型の里山」が生まれてきたと感じます。昔からの田畑の周辺に湿地や原っぱなどがあることで、生きものの種類が増え、自然豊かな緑地となります。

●体験学習や作業体験の場として活用

小中学生や一般のボランティアを受け入れる際、田畑の周辺の湿地が役に立っています。田畑より作業に熟練を要しないし、作物を気にせず、比較的大勢が入れます。湿地復元（湿地の中に水溜りを作る作業）のほか、ツル（カナムグラやクズ）や帰化植物（セイタカアワダチソウなど）の除去作業（湿地本来の植物、アシやオギを守る）があります。今後は冬に湿地の草刈りをしてもらうなども考えられるでしょう。

●来園者が生きものと触れ合える場所として

公園であっても、田畑に不特定多数の人を入れるわけにはいきません。教育のためには、田畑で育った生きものが来園者と触れ合えるように工夫しなくてはなりません。田畑の周辺の湿地や水溜りに、生きものが棲み付くような環境整備が必要です。田畑を保護区として里山生物を守り、田畑で増えた生きものが、周辺の広場や水路に出てきて、子ども達が生きものと触れ合えるようにするのが理想です。そのために、湿地の保全作業を模索する意義があると思います。昔から、食料生産の場であった里山の生活のよさを見直しながら、教育や自然保護の価値観を取り入れることで、より多くの参加を期待できるでしょう。

谷戸往来

体験学習

唐箕の寄付

山崎町内会総代の小川寿一さんより唐箕など農具の寄付をしていただきました。長い年月を経て、谷戸で再び活躍します。

総会 6/3(日)

第10回総会を開催しました。午前中は田畑の作業で汗を流した会員、久しぶりにお会いする会員が交流しました。懇親会では、作業の収穫物と谷戸の麦茶で労をねぎらいました。

私は初めて田んぼに入りました。母からも「田んぼをなめてはいけない」と言われ、どんなものかなと思っていました。(略) いざやってみると、お米作りの大変さを初めて知りました。自分たちで作ったお米を食べるのがまちどおしいです。(深沢小5) 田うない



(深沢小5) 田植え

小麦の脱穀が意外に難しかったけど楽しかったです。分かったことは、麦は脱穀してつぶにしてまたきれいにし、さらにまたきれいにしなければいけないという大変さを学びました。(教育支援教室ひだまり)

田んぼものさしを使ってきれいに、たて横そろえて植えました。田植えが終わった後、高い場所に来ると、下に見えた田んぼは、いねがそろってきれいでした。(深沢小5) 田植え

足のうらがべちよべちよしてあたたかかったり、つめたかったり、時には石をふんでいたかったりしていろいろ土のかんしょくが伝わってきておもしろかったです。(富士塚小5) 田うない

小麦の麦は、あんなにふさふさしているなんて知らなかった。さつまいもは、あんな葉っぱからできてるなんて知らなかった。

(小坂小5) 麦刈り

各班のお知らせ


田んぼ班

多くの方に参加いただき 6 月初旬に予定通り無事田植えが終了しました。ありがとうございます。今月は、伸びてくる稲の間を抜けながらの田の草取りです。山崎の夏祭り神輿用の稲も育てています。

畑班

7、8月は草取り、さつまいものつる返しと暑い中での仕事が続きます。農作業は同じ姿勢が続ぎ、血液循環が悪く熱中症になりやすいそう。まめに草を運ぶなど違う動作を意識的に入れて対策します。



 6/17 小麦の脱穀

植物育成班

生態系保全班と連携し今年も活動していきます。ヒメオドリコソウなどの帰化植物やツル植物の除去、貴重な野草の調査、保護をしながら、野草を見る目を育てていきたいと思ひます。


生態系保全班

トンボが産卵するように水路や湿地など水面が見える状態にします。手入れの前後には生きもの調査をし、手入れの状態が適切か観察します。ヤゴやホトケドジョウなどが確認できるとほっとします。

雑木林管理班

田植えも無事に終わり、草刈りの季節がやってきました。今年はそれと合わせて、昨冬に六国見山森林公園から譲り受けたスギ材を使って、老朽化してきた炭焼き小屋の修理を行う予定です。



 6/17 ネギの分けつ


自然遊び班

足踏み脱穀機や唐箕(とうみ)など、昔の農機具を使って小麦の脱穀をしました。★今日のことがあるて私は本当に昔の人はすごいと思ひました(小6)★だっこくがたのしかった。本当はもっとしたかった(小3)

農芸班

梅の成長には欠かせない恵みの雨を待たずに、予定より早い収穫。収量は例年より少なめ。希少な味わいをシソ漬けして仕上げます。わら細工にも取り組み、下準備から完成まで夢中になりました。



 クロスジギンヤンマ(♀)

7月

- 1日 (日) 田 田の草取り・苗床片付け ☆
畑 さといも土寄せ
雑 土手の手入れ ☆
青空自主保育にこにこ会 保全活動
- 4日 (水) 植 田の植物観察
- 7日 (土) 生 夜の自然観察 ♣
- 8日 (日) 田 田の草取り
雑 土手保全のための草刈り ♣
- 14日 (土) 生 夜の自然観察 ♣
- 15日 (日) 田 田の草取り ♣
試食の日 畑 さといもの草取り ♣
雑 下草刈り ☆
自 こども里山一日体験「竹であそぼう」▶
- 16日 (月・祝) 田 田の草取り
- 18日 (水) 農 梅干し作り (赤じそ仕込み) ♣
- 22日 (日) 田 田の草取り ♣
雑 土手の草刈り
生 夏の昆虫観察 ♣
- 25日 (水) 畑 さつまいものつる返し ☆ 畑の整備
生 水路の生き物の観察
講座「谷戸の生きもの」 ☆
- 29日 (日) 田 土手草刈り・田の草取り ☆
雑 雑木林の下草刈り ♣

8月

- 1日 (水) 農 梅干し作り (天日干し) ♣
- 5日 (日) 田 畔の草刈り ♣
畑 さつまいもの草取り・つる返し ♣
雑 草刈りして水路整備
- 8日 (水) 生 ツル植物除去作業
- 12日 (日) 田 畔の草刈り
- 19日 (日) 雑 アズマネザザの刈り取り ♣
- 子ども里山体験～かまどでごはん～
- 26日 (日) 田 ネット張り
畑 畑の整備
雑 土手の草刈り
生 バッタを探そう ♣
- 29日 (水) 講座「谷戸の植物観察」 ☆

田：田んぼ班 畑：畑班
雑：雑木林管理班 農：農芸班
自：自然遊び班 生：生態系保全班
植：植物育成班

9月

- 1日 (土) 生 秋の虫の音 ♣
- 2日 (日) 雑 アズマネザザの除去 ♣
- 5日 (水) 生 バッタやコオロギの調査
農 草木染め ♣
- 9日 (日) 田 すがい作り ☆
畑 大根の種蒔き ♣
雑 刈払い機で草刈り
自 子ども里山一日体験 ▶
「谷戸歩き」
- 16日 (日) 田 はさ作り (田んぼ横) ☆
畑 畑の整備
雑 稲刈り前の草刈り
- 19日 (水) 畑 畑の整備
植 秋の野草の調査
- 23日 (日) 田 はさ作り
(もめんばたけ奥)
雑 稲刈り前の草刈り
- 26日 (水) 植 湿地の花畑を見る ♣
- 30日 (日) 田 畔の草刈り
畑 畑の整備
雑 下草刈り ☆



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時

ホームページ : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号 (会報87号) は、2018年9月に発行予定

☆ 谷戸塾

♣ 一日里山体験 (要予約)

▶ 会員以外の方、参加費500円

夜の自然観察・秋の虫の音 18時半～20時半 山崎口しいし前ベンチに集合